

令和 7 年度 第 2 回 介護・医療連携推進会議 記録

2/2

● 記録

議事 1	
サービス 利用状況	2/5時点の利用者数 ・定期巡回（一体型）48名（施設内でのサービス提供利用者数） ・定期巡回（連携型）8名（名東区内の在宅サービス提供利用者数）
議事 2	
サービス 事例	<在宅サービス事例> ・1日5回訪問利用者の不慮のやけど状態発見～緊急対応～再度サービスを再開して、在宅生活の復帰が実現できた事例 ・定期巡回サービスだからこそ実施できる「1日複数回訪問」による生活見守り
議事 3	
自己評価表の 発表と評価	<令和7年度 定期巡回 自己評価・外部評価表>の説明 ・ご意見「状況に応じて柔軟に回数や時間を増やして対応している」部分が高評価
議事 4	
ご意見 質疑応答	1) スタッフの方々は、施設内での業務と地域在宅の業務を兼務しているのか？ → 在宅サービスでは、各家独自のルールや心身の変化が多いため、やはり専門スタッフによる対応の方が望ましい。また、利用者もなじみの関係があるヘルパーを好まれる傾向が強いため、施設内サービスのスタッフと、在宅専門のチームとは別にして対応している。 2) 在宅生活をできるだけ長く継続するための訪問サービスとしてとても魅力的だが、どうして定期巡回の事業所が増えないのか？ → やはり、日中深夜に渡りどの時間でも駆けつけることができるためには、「夜勤」にて常駐する体制が不可欠。しかし、24時間対応可能なシフト体制に基づいた人員数と、得られる介護報酬との収支メリットが薄い為、ニーズや必要性は認めるが、新規で参入するには足踏みしてしまう状況。

議事録作成（作成日）	令和8年2月5日
------------	----------

以上